

2025-26 年度

WEEKLY REPORT ROTARY CLUB OF FUKUSHIMA WEST. D2530

よいことの
ために
手を取りあおう

第
2530
地区

福島西ロータリークラブ会報

会長 宮崎 秀剛
幹事 佐藤 卓立
奉仕プロジェクト
委員会委員長 大平 謹一郎
会報写真担当 朝倉 久仁男

令和 7 年 7 月 7 日(月) 第 1 回 通算第 1734 回例会

・ 例会日/月曜日 12:30 ・ 例会場/エフズサンパレス ☎ (070) 6557-7808

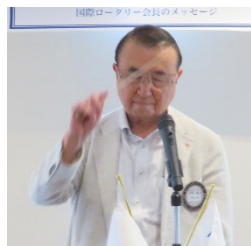
事務所/福島市万世町2-5 福島銀行本店9F ☎ (024) 536-1010・FAX (024) 536-1011 Eメール/ f-rotary@guitar.ocn.ne.jp

第 1 回例会 点鐘 12:30

◇開会点鐘 宮崎 秀剛 会長



◇ロータリーソング
「奉仕の理想」
ソングリーダー
西形 健吉 会員



◇四つのテスト唱和
職業奉仕委員長
高梨 哲男 委員長



◇お客様並びにビジター紹介
米山記念奨学生 イェプ・シャオティン さん



◇米山記念奨学金給付 (7 月分)

米山記念奨学生 イェプ・シャオティン さん



◇7 月誕生祝い

宮崎 秀剛 会員 昭和 48 年 7 月 16 日生まれ



◇エフズサンパレス様よりごあいさつ

エフズサンパレス マネージャー 武川 恵 様



◇会長あいさつ

宮崎 秀剛 会長

福島西ロータリークラブ2025-26年度会長を拝命いたしました、宮崎秀剛です。

皆様、どうぞよろしくお願い申し上げます。

本年度より、例会場をここエフズサンパレス様に移し、新たなスタートを切ることとなりました。

この移転にあたりご尽力いただきました、寺島直前会長、佐藤直前幹事、事務局の小澤さん、そしてエフズサンパレスの武川様に、心より御礼申し上げます。

後ほど会長スピーチの時間を頂戴しておりますので、会長としてのご挨拶は簡略にさせていただきますが、会員の皆様とともに、充実した一年となるよう力を尽くしてまいります。

どうぞご協力のほど、よろしくお願いいたします。

◇幹事報告

佐藤 卓立 幹事

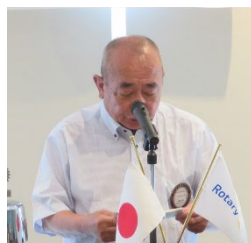
○お知らせ

- 7/3(木)福島 RC 第1回例会が開催されました。当クラブより宮崎会長、佐藤幹事、佐藤宗弘会員が出席いたしました。
- 本日午後6時30分よりウィズもとまちにて7月理事会を開催いたしますので役員・理事の方々宜しくお願いいたします。
- 7/13(日)13時30分より郡山ビューホテルアネックスにて2025学年度米山記念奨学生卓話研修会が開催されます。当クラブよりイエブ・シャオティンさん、佐藤宗弘会員が出席いたします。
- 7月ロータリーレートは1ドル145円となっておりますのでお知らせいたします。

委員会報告

◇プログラム・出席・スマイリングボックス小委員会報告

久米 允彦 会員



○宮崎秀剛会長

新年度のスタートです。クラブの皆様に支えられながら充実した1年にしたいと思っております。自らも成長しますのでどうぞ宜しくお願いいたします。

○佐藤卓立幹事

本日より2025-26年度例会場を新たにエフズサンパレスに移してスタートします。皆様におかれましては、1年間宜しくお願いいたします。

○西形健吉会員

新しい例会場 GOOD!

○佐藤宗弘会員

宮崎会長年度の船出を祝して！エフズサンパレス様、お世話になります。

○小澤陽子事務局員

第1回例会おめでとうございます。今年度の事業も大いに盛り上がりますよう祈念いたします。1年間宜しくお願い申し上げます。

寺島英樹会員／高橋智弘会員／黒澤信之会員／
穴戸順一会員／高根典子会員／高梨哲男会員／
佐藤慶行会員／太平謹一郎会員／野尻榮一会員／
久米允彦会員

◇ゴルフ部より報告

黒澤 信之 部会長



次月8月9日(土)パーシモントリークラブにて第1回親睦ゴルフ大会を開催いたしますので、多数の御参加お待ちしております。

◇本日のプログラム

◆会長スピーチ

宮崎 秀剛 会長

皆さま、こんにちは。2025-26年度 福島西ロータリークラブ会長を仰せつかりました、宮崎秀剛（みやざきひでたか）です。一年間どうぞよろしくお願いいたします。

本年度のスローガンは、「基本に忠実 変化に対応」です。

ロータリーの理念である「超我の奉仕」とは、利己に傾きがちな人間が、利他の精神を尊重し、そのバランスの中で人間として、また職業人として成長していくことを意味しています。この原点に立ち返り、クラブの設立精神や長年の歩みに敬意を払いながら、一年を歩んでまいります。

一方で、私たちを取り巻く社会は、これまでにないスピードで変化しています。少子高齢化、デジタル化、価値観の多様化。加えて、地域社会とのつながりも、コロナ禍以降、大きく姿を変えました。

こうした時代にこそ、**「変化を恐れず」**に、柔軟に対応していく姿勢が必要です。ロータリーの基本理念をしっかりと胸に刻みながら、次の世代に誇れるクラブ運営を進めていきたいと考えています。

そこで本年度は、以下の4つを活動の柱といたします。

1. ロータリー精神の再認識

2. 会員同士の親睦の強化
3. 地域社会への貢献の再構築
4. 青少年育成の継続と支援

中でも、28回目を迎える「福島西ロータリークラブ杯 少年野球大会」は、地域の子どもたちに夢や努力、チームワークの大切さを伝える貴重な機会です。私はこの大会に関わるたび、子どもたちの真剣な姿に心を打たれ、「続けてきてよかった」と実感します。地域との接点を持ち続けること、それがロータリーの存在意義でもあると感じています。

また、若手会員の育成や次世代との橋渡しも、重要なテーマです。「自分も参加してみたい」「一緒に活動したい」と思えるような雰囲気づくりが、クラブの未来をつくっていきます。

さて、皆さまにお尋ねします。ロータリー活動は、楽しいですか？「昔は楽しかったけど、今はね…」そんな声を耳にすることもあります。実際、新年度は21名でのスタートとなります。会員増強といいながらも、退会者が出ている現状を見ると、何かを見直す必要があるのではないのでしょうか。

先日のPETS・地区研修協議会では、「公共イメージ」についての話がありました。ロータリーを知るきっかけは、知人・家族の紹介、テレビ・新聞が多く、SNSやWEBでの認知はまだまだ低いのが現状です。イメージとしては、「年齢層が高い」「裕福な人が多い」「企業役員が所属している」などが上位にあがっていました。

私自身、52歳ですが、クラブではまだ“若手”と呼ばれています。ゴルフもお酒も嗜まず、時間もお金も潤沢とはいえないですが、それでもこのクラブに「居場所」があると感じてきました。

日本のロータリアンが退会する理由としては、

1. クラブのリーダーシップの不足
2. 費用に見合う充実感の欠如
3. 奉仕活動のやりがい不足

が挙げられています。

この3年間で、2530地区の会員数は130名減少しました。新入会員は771名いましたが、それを上回る退会者が874名。単なる会員数の増減だけでなく、「このクラブにいたい」と思える空気があるかどうか、継続の鍵なのだと思います。

私自身、例会や行事にはできるだけ参加しようと思ってきました。ただし、直前の予定は厳しいです。仕事の都合上、土日は仕事、平日が休みというスケジュールの中で、できるだけ調整をしています。

そうして参加して思うのは、「やらされ感」を減らしたいということ。行事が多すぎて負担になっていないか、参加する意味がしっかり伝わっているか。ここに

手を入れる必要があると、強く感じています。「今までこうだったから」ではなく、「これからどうしていくか」。残すべきものはしっかり残し、変えるべきものは柔軟に変える。そうした姿勢で一年間、運営してまいります。

2530地区、県北第一分区の方針にもある「充実した例会の実施支援」。相良ガバナー補佐は「例会ルネッサンス」と表現されていました。まさにその通りで、例会があるからこそ、仲間と顔を合わせ、情報交換し、「楽しかった」「来てよかった」と感じられる。

それがクラブの居場所であり、居心地の良さだと思っています。本年度のテーマ、「基本を大切に、変化を恐れず」この姿勢を忘れず、会員の皆さまとともに、より良いクラブづくりに取り組んでまいります。どうぞ一年間、ご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

◆幹事スピーチ

佐藤 卓立 幹事



◇閉会点鐘

宮崎 秀剛 会長

◇会報カメラ担当

朝倉 久二男 公共イメージ委員会委員長